

屋内体育施設、コンベンション施設の候補地に関する情報調査票

提出日：平成30年 月 日

市町村名：飯田市

I. 想定する施設

1 屋内体育施設

2 コンベンション施設

3 どちらも可能

II. 求める情報記入欄

ア. 候補地の情報

①所在地(地番)	①飯田駅周辺（南側、西側、ピアゴ周辺） ②飯田市公民館周辺（市公、中央公園周辺） [地番省略]		②面積	①約36,000 ② - m ²
③登記地目	宅地ほか	④現況 (利用状況)	(公有地) アイパーク、市営駐車場等 (私有地) 宅地、駐車場等	
⑤所有者情報	<input checked="" type="radio"/> 1 公有地	<input checked="" type="radio"/> 2 私有地	⑥権利関係の状況	
⑦法的規制	①②用途地域（商業地域） ②都市計画公園（市民プール及プール跡地） 都市計画道路（谷川1号線、2号線）			
添付する図面 (A3サイズ)	・位置図（1/1万～2.5万） ・地形図（形状の分かるもの） ・航空写真			

イ. 周囲の環境

⑧交通事情（周辺道路事情、最寄りICからの距離、JR飯田線との接続など）	<ul style="list-style-type: none"> ・飯田ICより約5km10分 ・JR飯田駅より700m（徒歩10分）圏内 ・高速バス乗り場より700m（徒歩10分）圏内
⑨周辺の状況（候補地周辺の土地利用の状況、利便施設の位置など）	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地エリアで、飯田駅及び高速バス乗場に隣接した位置 ・まちづくりのシンボルであるりんご並木と桜並木に隣接している ・商業及び飲食施設の集積あり ・市営駐車場のほか民間駐車場あり

ウ. 当該候補地の優位性

<p>⑩施設を整備する場合、コンセプトを実現する上で優位であると考えられる点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当該用地は、都市機能（ホテル・飲食店・文化施設・行政機関など）が集積している中心市街地エリアである。そのため、来訪者や利用者にとって周辺の利便性は多様で高い。 ・中心市街地に現存する会議施設も合わせて活用することにより、建設後の運営や維持管理コストが過重となる大規模施設の建設を行わなくても、丘の上一帯でコンベンション機能を有することが可能となる。 ・コンベンション施設を、会議室と文化会館や市公民館のホール機能を併せ持った複合施設として整備することにより、二重投資を回避し稼働率の確保ができる。 ・中心市街地に既存の飲食店、宿泊施設や観光資源（りんご並木や人形とけい塔・川本喜八郎人形美術館などの観光施設・人形劇フェスタ等イベント）を一体的に活用してまちなかMICEとして展開することができる。 ・文化施設をつくる場合、郊外では公共交通や飲食店、宿泊施設などから離れることにより利便性、経済効果が失われてしまう。文化・芸術と共に街の文化も同時に楽しむことができる環境が整っている。 ・建物の老朽化が進む駅前再開発も促進される。 ・老朽化が進む飯田市公民館エリアも含み、中央公園の活用も有効となる。 ・4月から11月までほぼ毎月実施されるイベントとも連携でき、文化の発信地が街の中心にできる効果は活性化に重要である。
--	--

エ. 留意事項

<p>⑪今後の検討に当たり留意すべき点（整備を想定した時の課題、市町村での検討の経過など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移転補償をとまなう用地確保が必要となる。 ・駐車場は周辺の既存駐車場（複数）のほか、立体駐車場などが必要となる。 ・敷地面積の制約は、高層階で対応することと、駐車場は線路をはさむため、線路越えの連絡通路を検討。 ・飯田市公民館、中央公園には立体駐車場を建設し、コンベンション本体につなぐ連絡通路の設置の必要がある。 ・既成からの再開発が必要。 ・JRに接しており鉄道用地を含むため、通常の開発に加えJRとの調整が必要となる。 ・(株)ユニーが所有するピアゴ店舗部分については、食品スーパーと会議室との複合的活用の検討が必要。(株)ユニーの方針が定まっていない状況である。 ・飯田市では飯田文化会館、飯田市公民館、県公民館の市内3ホールの再編を検討しているところであり、これと密接な関係が生じるため、十分な情報共有と調整を求めたい。
---	---

屋内体育施設、コンベンション施設の候補地に関する情報調査票

提出日：平成30年 月 日

市町村名：飯田市

I. 想定する施設

1 屋内体育施設

2 **コンベンション施設**

3 どちらも可能

II. 求める情報記入欄

ア. 候補地の情報

①所在地(地番)	リニア駅南側 (重点協議区域)		②面積	約13,000 m ²
	[地番省略]			
③登記地目	宅地、農地	④現況(利用状況)	店舗、住宅、田・畑	
⑤所有者情報	1 公有地	2 私有地	⑥権利関係の状況	
⑦法的規制	・準工業地域、特別用途地区 (大規模集客施設制限地区)			
添付する図面(A3サイズ)	・位置図 (1 / 1万~2.5万) ・地形図 (形状の分かるもの) ・航空写真			

イ. 周囲の環境

⑧交通事情 (周辺道路事情、最寄りICからの距離、JR飯田線との接続など)	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア長野県駅南側で国道153号、県道市場桜町線、市道五郎田線に囲まれた地域 ・座光寺SICから南東約2km ・JR飯田線元善光寺駅及び伊那上郷駅から約1.5km ・乗換新駅候補地から約500m
⑨周辺の状況 (候補地周辺の土地利用の状況、利便施設の位置など)	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア長野県駅南側 (駅周辺整備区域の南側) ・中心市街地から北東約3km

ウ. 当該候補地の優位性

⑩施設を整備する場合、コンセプトを実現する上で優位であると考えられる点	<ul style="list-style-type: none"> ・当該用地は、長野県の南の玄関口となるリニア長野県駅に隣接している。座光寺上郷道路やJR飯田線乗換新駅が整備されることにより、広域的な交通拠点として国内外からの人の流れをつくり、県内や三遠南信地域に広く波及させることができる。 ・これまでに都市機能が蓄積されてきた中心拠点 (丘の上) との連携を強化することにより、既存ストックを最大限に活かした交流・定住・学術研究エリアの創出に取り組むことができる。 ・また、リニア駅の駐車場を共用するなど駅機能を有効活用することが可能である。
-------------------------------------	--

エ. 留意事項

⑪今後の検討に当たり留意すべき点 (整備を想定した時の課題、市町村での検討の経過など)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度中にリニア駅周辺整備基本設計を策定する。また、リニア駅周辺整備区域6.5haは平成30年度に都市計画決定を予定しているため、今後の検討過程において調整が必要となる。 ・リニア中央新幹線の間接駅ができる沿線商工会議所の会議において、どこもアリーナ、コンベンション施設設置を考えており、特色のある施設を考えていくことが大切ではないか。 ・施設は作れば終わりではないので、施設維持費をどこがどのように負担していくか方向性を早期に検討していくことが大切ではないか。 ・整備にあたっては用途地域の見直しが必要になる。 <p>※参考※ リニア駅周辺整備・国道153号線の拡幅・座光寺スマートインターチェンジ関連の整備により、多くの優良農地が減少するので、これ以上農地が減少しない計画としてほしい。</p>
---	--

屋内体育施設、コンベンション施設の候補地に関する情報調査票

提出日：平成30年 月 日

市町村名：飯田市

I. 想定する施設

1 屋内体育施設

② コンベンション施設

3 どちらも可能

II. 求める情報記入欄

ア. 候補地の情報

①所在地(地番)	リニア駅北側（座光寺共和地区） [地番省略]		②面積	約20,000 m ²
③登記地目	宅地・田 他	④現況 (利用状況)	住宅及び農地	
⑤所有者情報	1 公有地	② 私有地	⑥権利関係の状況	
⑦法的規制	・農業振興地域（農用地）			
添付する図面 (A3サイズ)	・位置図（1／1万～2.5万） ・地形図（形状の分かるもの） ・航空写真			

イ. 周囲の環境

⑧交通事情（周辺道路事情、最寄りICからの距離、JR飯田線との接続など）	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア長野県駅北側で国道153号と新設される座光寺上郷道路の交差点の隣接地 ・座光寺SICから南東約2km ・JR飯田線元善光寺駅及び伊那上郷駅から約1.5km ・乗換新駅候補地から約700m
⑨周辺の状況（候補地周辺の土地利用の状況、利便施設の位置など）	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア長野県駅北側（駅周辺整備区域の北側） ・中心市街地から北東約3km

ウ. 当該候補地の優位性

⑩施設を整備する場合、コンセプトを実現する上で優位であるとえられる点	<ul style="list-style-type: none"> ・当該用地は、長野県の南の玄関口となるリニア長野県駅に隣接している。座光寺上郷道路やJR飯田線乗換新駅が整備されることにより、広域的な交通拠点として国内外からの人の流れをつくり、県内や三遠南信地域に広く波及させることができる。 ・これまでに都市機能が蓄積されてきた中心拠点（丘の上）との連携を強化することにより、既存ストックを最大限に活かした交流・定住・学術研究エリアの創出に取り組むことができる。
------------------------------------	--

エ. 留意事項

⑪今後の検討に当たり留意すべき点（整備を想定した時の課題、市町村での検討の経過など）	<ul style="list-style-type: none"> ・リニア中央新幹線駅の利用客との共用が可能となる駐車場の確保 ・飯田市の代替地用地として協議中である。 ・公共用地としての整備を求める意見が説明会等で出されている。
--	--

屋内体育施設、コンベンション施設の候補地に関する情報調査票

市町村名：飯田市

提出日：平成30年 月 日

I. 想定する施設

1 屋内体育施設	2 コンベンション施設	3 どちらも可能
----------	--------------------	----------

II. 求める情報記入欄

ア. 候補地の情報

①所在地(地番)	上郷黒田（大明神原） [地番省略]		②面積	約80,000 m ²
③登記地目	畑	④現況 (利用状況)	畑	
⑤所有者情報	1 公有地	2 私有地	⑥権利関係の状況	
⑦法的規制	農業振興地域（農用地）			
添付する図面 (A3サイズ)	・位置図（1 / 1万～2.5万） ・地形図（形状の分かるもの） ・航空写真			

イ. 周囲の環境

⑧交通事情（周辺道路事情、最寄りICからの距離、JR飯田線との接続など）	<ul style="list-style-type: none"> ・座光寺SICから約1.4km ・飯田線乗換新駅から約0.5km ・座光寺上郷道路にアクセスする新設道路の交差点（上郷黒田地籍）から約0.3km（いずれも直線距離） ・飯島・飯田バイパスに隣接 ・リニア駅から約0.7km ・飯田市役所から約2.6km
⑨周辺の状況（候補地周辺の土地利用の状況、利便施設の位置など）	<ul style="list-style-type: none"> ・当地籍一帯は、古くは桑園地帯であったが、現在は畑として利用されている。家屋はなく、まとまった土地。 ・南アルプスを望む風光明媚な場所

ウ. 当該候補地の優位性

⑩施設を整備する場合、コンセプトを実現する上で優位であると考えられる点	<ul style="list-style-type: none"> ・イ⑧のとおり、リニア駅、飯島・飯田バイパス等から近距離である。駅及び中心市街地の機能と連携した施設としても期待できる。 ・当該地籍は、旧上郷町時代から開発候補地として話題となっている。
-------------------------------------	--

エ. 留意事項

⑪今後の検討に当たり留意すべき点（整備を想定した時の課題、市町村での検討の経過など）	<ul style="list-style-type: none"> ・飯島・飯田バイパスからのアクセス道路の整備が必要となる。 ・埋蔵文化財調査 ・農業振興地域からの除外 ・JR飯田線新駅からの高低差への対応
--	--